

指定自動車整備事業者 各位

(一社)山口県自動車整備振興会

下記のとおり、(一社)日本自動車整備振興会連合会を通じて国土交通省 自動車局整備課より通達がありましたのでお知らせします。

指定自動車整備事業における着色フィルム等が装着された自動車の指導について

今般、窓ガラスフィルム製作者より、着色フィルム等が装着された自動車の取扱いに関する運輸支局等の指定自動車整備事業に対する指導が統一されていないとの指摘を受け、全ての運輸支局等に対し調査をしたところ、運輸支局等の指導に差異が確認された。

これまでも指定自動車整備事業において可視光線透過率測定器を用いて判定することも可能とされているが、可視光線透過率の適合性を視認により容易に判定することができない場合にあっては、下記のとおり、取扱うよう指定整備事業者に周知されたい。

なお、別添のとおり、関係団体に通知したことを申し添える。

記

1. 当該事業場において可視光線透過率測定器を用いて判定する場合は、道路運送車両の保安基準第 29 条第 3 項に規定された要件を満たすもの^{*}を用いること。
※<参考>独立行政法人自動車技術総合機構においては「PT-50、PT-500 (光明理化学工業製)」を使用。
2. 前項の取扱いにより判定しない場合は、当該自動車については道路運送車両法第 9 4 条の 5 の規定が適用できないことから、運輸支局等又は軽自動車検査協会に現車を持ち込み受検すること。